

警察署協議会会議録

うきは警察署協議会

開催年月日時	令和2年2月18日 午後4時00分 から 午後5時45分 まで	
開催場所	うきは警察署 3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下 7名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長、地域課長、警備課長、総務第二係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】 会長から「先日、用件があり東京に行った。通常であれば至る所で外国人を見かけるが、今回は新型コロナウイルスの影響で外国人の姿がなく、経済的な損失も大きい様である。このような感染への不安や寒暖の差が激しい状況の中で街頭活動をされている警察の皆様方には、健康に十分留意して頂きたい。」旨挨拶があった。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】 署長から「平素から警察活動各般に亘り、御支援・御協力をいただき感謝申し上げます。本年1回目となる本日の協議会では、警察署からは、「昨年当署管内の治安概況」や「本年の活動方針」等について、詳細を報告させていただく。1月に確定した統計数値によれば、昨年当署管内の刑法犯認知件数は一昨年より更に減少して、福岡空港警察署を除くと警察署別で2番目に少ない件数であり、交通事故は残念ながら2件の死亡事故があったものの、人身交通事故件数も一昨年から更に減少して、博多臨港警察署・嘉麻警察署に次いで3番目に少ない件数であった。治安的には良い傾向であるが、本年も気を緩めることなく、管内住民の皆様の理解と協力を頂きながら「うきは市と田主丸町の安全安心の確保」に向けて、全署員一丸となって治安対策に取り組んでいく。そのためにも、本日の協議会では、住民代表でもある委員の皆様、忌憚りの無い御意見、御質問、御要望を頂戴できればと思っている。」旨の挨拶があった。</p> <p>【協議事項等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福岡県警察署協議会会長会議の結果について 2 令和元年の事件・事故発生状況及び下半期の主な取組みについて 3 令和2年福岡県警察署運営指針及び警察署の活動方針について 		

議 事 概 要

- 4 犯罪被害者支援活動について
- 5 福岡県警察逮捕術大会の結果について

【福岡県警察署協議会会長連絡会議の結果について（要旨）】

会長から令和2年1月23日に開催された警察署協議会会長連絡会議の開催結果について報告がなされた。

南警察署が実施した福岡少年院の視察（非行少年の立直り支援）、若松警察署が実施した外国人委員の委嘱（幅広い意見の聴取）及び支援型自動販売機の設置（犯罪被害者支援）、嘉麻警察署が実施した八丁トンネルの視察（交通安全対策）などの取組みについて事例紹介があった。

【質疑応答等】

- 委員から「現状として、うきは警察署管内の防犯カメラは、十分な台数が設置されているのか。」旨の質問があり、刑事課長から「自治体等が設置できる台数には予算の関係等により限界がある。防犯カメラを設置している民間企業にも働き掛けを行い、事件発生時は画像の提供をお願いしている。」旨の回答があった。
署長から「これだけ設置されていれば十分という基準はないが、犯罪抑止や事件捜査の面から、防犯カメラの効果は絶大であると考えている。」旨の説明があった。
- 委員から「昨年、凶悪事件や風俗犯の認知件数が増加している理由は何か。」旨の質問があり、生活安全課長から「検挙した1人の被疑者の過去の複数の余罪を立件したことから認知件数及び検挙件数が増加したものである。」旨の回答があった。
- 会長から「65歳以上の免許保有者が増加しているにもかかわらず、うきは警察署管内では高齢者の交通事故が減少しているのはなぜか。」旨の質問があり、交通課長から「うきは市による「踏み間違い防止装置」や「ドライブレコーダー」の導入に対する補助制度があること、警察による高齢ドライバーに対する参加・体験型の安全運転講習を開催していること及びボランティアによる交通立番等の街頭活動が積極的に実施されていることなどが考えられる。」旨の回答があった。
- 副会長から「道の駅うきは」周辺の交通事故を防止するために考えられる対策はあるか。」旨の質問があり、交通課長から「路面標示の明確化等について道路管理者と対策を講じていく。」旨の回答があった。
- 委員から「うきは警察署管内で大規模工場の建設工事が開始され、交通事故等が懸念されるが、工事関係者に対する事前対策は考えているのか。」旨の質問があり、署長から「お尋ねの大規模工事に関しては、既に交通事故防止対策として、工事関係車両の安全な走行経路について、また、暴力団排除対策についても関係事業者と協議を行っているところである。」旨の説明があり、刑事課長から「暴力団の資金源対策として、工事関係業者と緊密な情報交換を行うとともに、暴排講習を開催するなどの対策を講じている。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「飲酒運転容疑の通報とは、どのような内容か。」旨の質問があり、交通課長から「蛇行運転や低速走行の車両の目撃情報等が寄せられている。」旨の回答があった。署長が「通報により飲酒運転被疑者を現行犯逮捕した事案について、通報者に感謝状を贈呈した。詳細は警察署ホームページにも掲載している。」旨の説明があった。
- 委員から「ニセ電話詐欺に若い人が加担しているという新聞記事を見たが、具体的事例があれば教えてほしい。」旨の質問があり、刑事課長から「当署の事件ではないが、以前、犯罪であると知りつつも高額のアルバイト料に釣られて、ニセ電話詐欺の「受け子」として加担した大学生を検挙した事例がある。」旨の回答があった。署長が「昨年県内でのニセ電話詐欺の被害者は7割以上が65歳以上の高齢者であった。このうちの大多数が防犯講話や老人会等の会合に出席しておらず、まだまだ広報啓発が届いていない実態が分かっている。是非、防犯講話等への参加を呼びかけて頂きたい。」旨の説明があった。
- 副会長から「芸能界や高校生の薬物使用事案が多数報道されているが、管内での実態はどうか。」旨の質問があり、刑事課長から「ネット等で若年層が容易に禁止薬物を入手している実態はあるが、現在のところ当署管内での把握はない。徹底した取締りを継続していく。」旨の回答があった。
- 委員から「バイクの単独転倒事故が発生し、110番通報後、警察官が到着するまで15分を要したという話を聞いたが、遅くなる場合の理由は何か。」旨の質問があり、地域課長から「110番通報内容にもよるが、パトロール等で離れた場所から直行する場合や、他の事案処理のため遅れる場合等が考えられるが、早期現場到着には今後も心掛けていきたい。」旨の回答があった。
- 委員から「警察による長年の御努力で、うきは警察署管内の人身交通事故が200件を切り、20年前には日常的だった飲食店での喧嘩も滅多に聞かなくなるなど大きな成果をあげている。パトロール中のパトカーと擦れ違う回数も増え、大変心強く思っている。」旨の意見が寄せられた。
- 委員から「昨年、私が校長を勤める自動車学校に支援型自動販売機を設置したが、面倒な手続きは一切不要で、簡単に導入することができた。今後は、警察署協議会委員として、あらゆる機会を通じ、支援型自動販売機の普及促進に努めていきたい。」旨の意見が寄せられた。
- 委員から「福岡県警察逮捕術大会で準優勝を決めた試合の映像を見て、改めて、うきは警察署員の士気の高さを感じた。」旨の意見が寄せられた。

議 事 概 要

① 会長挨拶



② 議事の様子

